

2025 年度 事業報告

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

◆ 概況

2025 年度におきましては、博物館の開館日（前年度までの水曜日～日曜日を、月曜日～金曜日に変更）や開館時間（前年度までの 10：00～17：00 を、10：00～16：30 に変更）などを変更いたしました。また、これらの変更にとともなう人員等の配置・業務分担・業務内容などを含めた運営体制の変更も実施いたしました。さらに、財団設立後、約 10 年が経過したことから、経年劣化した床仕上げ材の交換や什器類の更新・配置変更などの内装関連のリフォームを実施いたしました。また、ロータリーベニヤレースについても部品等の交換を含め更新を行いました。以上の改修や更新等の結果を踏まえ、新たな環境のもとで各種事業を積極的に推進いたしました。

◆ 賛助会員数（2026 年 3 月 31 日現在）

法人会員 188 団体、328 口（前期比 5 団体減、5 口減）

◆ 来館者数（2025 年 4 月～2026 年 3 月）

5,826 名 [大人 4,229 名 子供 1,597 名]

（前期比 2,800 名減 [大人 1,202 名減 子供 1,598 名減]

※ 累計来館者数（2007 年 10 月～2026 年 3 月）

173,924 名 [大人 128,060 名 子供 45,864 名]

1. 公益目的事業

（1）木材や合板等に関する資料等の収集及び展示・公開

- ・ 3 階 ロータリーベニヤレース正面床「モクユカ」設置
和室コーナーにて畳、網代、腰壁及び組子細工展示
- ・ 4 階 令和 6 年度助成事業研究成果報告 掲示

（2）木材や合板等の有効利用及び需要拡大等に資する情報の普及活動、及び自然環境教育事業

ア 季刊誌等での情報発信

① 定期情報誌「PLY」

- ・ 第 33 号 巻頭インタビュー「生命の森熱帯雨林 ―Wonder of Rainforest―」
千葉県動物公園 調整主任 清田 義昭
木アラカルト「南洋材を求めて②（寄稿）」谷山 順一

② 博物館の広報・PR 活動等

- ・ TBS テレビ「東京空色さんぽ」
- ・ 日本森林林業振興会「グリーン・サークルニュース」
- ・ 日経 CNBC チャンネルジャパン日経（東南アジア向け）
- ・ 朝日新聞 学びを語る「不思議な木の世界」
- ・ JK フェア、深川ウッドフェスへ出展

イ 「合板の日」記念式典（日本合板工業組合連合会、日本合板商業組合との共同事業）

日 時： 2025 年 11 月 7 日（金）

場 所： 新木場タワー 1F 大ホール

内 容： 我が国の合板産業の発展に貢献の者の表彰

「合板の日」実行委員会感謝状の受賞者： 島根大学名誉教授 山下晃功氏

参加人数： 約 200 名

ご来賓： 林野庁長官、林野庁次長、東京都産業労働局農林水産部長 他

講演会： 「木質をめぐる防耐火の現状－大規模木構造の防耐火の新技術－」

森林総合研究所フェロー 原田寿郎氏

ウ 主な団体見学の受け入れ

（教育機関）

江東区内小学校 15 校(全校 45 校の内)、江東区教育委員会、市川工業高等学校、茂原商業高等学校、潤徳女子高等学校、清教学園高等学校、青峰学園、筑波大学附属桐ヶ丘特別支援学校、福岡県立香住ヶ丘高等学校、東京大学、東京農工大学、慶応義塾大学、芝浦工業大学、日本大学、東京電機大学、武蔵野大学、東京農業大学、東京テクニカルカレッジ、西部総合職業技術校 木工クラフトコース、放課後等デイサービス 他

（その他団体等）

林野庁、（公財）国際緑化推進センター、都立城南職業能力開発センター、江東区温暖化対策課 環境学習情報館 えこっくる江東、日本木材保存剤工業会、東京木材青年クラブ、熊本森林組合、匝瑳市商工会工業部会、宮城県職員、北空知森林組合、東京都水道歴史館、その他 各地ウォーキンググループ、子ども会、デイサービス、国内外木材・合板関連企業等

エ ワークショップ

木の動物作り、木のしおり作り、木のプレート作り、ウッドバーニング体験等を実施

（３）奨学・育英及び研究助成事業（給付型）

① 奨学・育英事業

目 的： 向学心がありながら家庭の経済的な理由により、修学が困難な学生に対し奨学援助を行い、社会に有用な人材を育成することを目的とする。

対 象： 森林・林業ならびに農業に関するコースを設置している高等学校 等に在学する者

選 定： 選考委員会において選考を行い、理事会にて承認

選考結果および金額： 50 名（応募者 55 名） 240,000 円／人 合計 12,000,000 円

② 研究助成事業（給付型）

目 的：木材関連分野に関する研究を行っている将来有望な若手研究者（大学院生）の育成のために、研究経費等の財政支援を行うことを目的とする。

対 象：35 歳以下の大学院に在籍する学生に限る。また、申請者は木材関連の学協会の学生会員または正会員であることが望ましい。

選 考：選考委員会において選考を行い、理事会にて承認

選考結果および金額：4 名（応募者 13 名） 600,000 円／人 合計 2,400,000 円

	所属	研究課題名
A 氏	宇都宮大学 修士 2 年	NLT の面内せん断性能に関する研究
B 氏	東京大学 修士 2 年	熱軟化性を付与した木材パルプによる実用プラスチックの低炭素化
C 氏	早稲田大学 博士後期 1 年	台湾檜材の日本導入と近大寺社建築への適用に関する建築史研究
D 氏	京都大学 博士 3 年	木材由来クラフトリグニンによるアミロイド β 凝集阻害効果の解明

2. 収益事業

（1）ウッドマスター講習会

・基礎講座（オンライン）

【講習内容】①温暖化防止と森林・林業・木材、②林業の基礎知識、③森林認証制度と合法木材、④木材の基礎知識、⑤針葉樹と広葉樹の識別、⑥腐朽菌・害虫による木材の劣化と耐久性、⑦木材流通の仕組み、⑧木材需給と貿易、⑨木質建材の基礎知識、⑩木材乾燥の基礎知識、⑪接着剤の基礎知識、⑫これからの木造建築

【受講料】一般 33,000 円／人、賛助会員 31,000 円／人

	第 1 回	第 2 回
開催日	4 月 10 日（木）・11 日（金）	9 月 17 日（水）・18 日（木）
受講人数	96 名	52 名

（2）ショップ販売

・木製品等の販売 他

収入：307,330 円（前期比 349,160 円減）

以上